

東高校生、初めてのマレーシア修学旅行

金沢学院東高校二年生の修学旅行は十一月十六日から二十二日まで行われ、今年初めての東南アジアのマレーシアへ出向きました。旅程には伝統のろうけつ染め体験やホームステイなども組まれ、生徒たちは、日本と異なる気候、生活、習慣や食事などを通じて異国文化を実感した様子でした。



クアラルンプールの市内観光で高層ビルを背景に記念写真に収まる東高校生徒

伝統の染物、ホームステイなど体験



ろうけつ染め体験で着色する東高校生「テメルロー」

参加した生徒二百四十四人はA・B二隊に分かれ、A隊は南部のジョホール・バル、B隊は首都クアラルンプールを出発点にマラッカ、テメルローなどの町をめぐりました。

このうちテメルローでは、マレーシア伝統のろうけつ染め「パティック」を体験しました。花柄などの下絵を描いて絵の具で色づけしていく作業に生徒たちは真剣に取り組んでいました。またホストファミリー宅で、マレーシアの家庭料理を味わい、生徒らは「少し辛いけどおいしい」と感想を話していました。

現地の気候は日本の真夏と同程度の気温で、雨季のため湿度も高く、生徒らは毎日のように見舞われる激しいスコールにも気候風土の違いを実感しました。

金沢学院短大で農政局特別講義



金沢学院短期大学の特別講義「写真左」と意見交換会が十一月十五日と二十一日、4号館講堂で行われ、食物栄養学科の一、二年生と専攻科生が、「食の安全をとりまく状況」「食と農を支える新たな展開」の二つのテーマで学びました。

特別講義は、北陸農政局が食と農について消費者の理解と意識向上を図るための活動の一環です。このうち食の安全についての講義は、同局消費・安全部長の藤定光太郎氏が講師を務め、BSE、鳥インフルエンザ、残留農薬、遺伝子組み換え食品、品質表示法などについて解説しました。

北國スポーツ賞を受賞

北國新聞社の第四十二回北國スポーツ賞に、いずれも重量挙げで活躍する金沢学院職員の新谷義人さん、金沢学院東高校教員の齋藤里香さん、金沢学院大学二年の橋田麻由さんと、金沢学院東高校トランポリン部が選ばれました。

十一月二十三日、北國新聞会館で行われた表彰式では、飛田秀一社長から一層の活躍を期待して、三人とクラブの代表にそれぞれ表彰状と記念のトロフィーが贈られました。新谷さんは、アジア大会出場に向けた合宿のため、母親が代理で出席しました。



記念写真に収まる齋藤（前列右から5人目）、橋田（同左から5人目）とトランポリン部員（前列左）

就職に向けマナー講座

金沢学院大学就職教育講座の実践マナー講座は十一月十七日と二十四日、4号館講堂で行われ、三年生と文学部一、二年生が、企業が求める人物像、社会人としての心構えなどを学びました。

「写真左」。

大和香林坊店人事部長の山下英明氏が、「鏡で自分の顔を見て、気合を入れていくのが社会人。身だしなみはスポンの折り目、靴などは足元のおしゃれにも気遣いを」と指導しました。



北國新聞「学術の森」北國新聞朝刊で十一月三十日から、金沢学院大学の「学術の森」の掲載がスタートしました。今年末までの予定で、文学部、経営情報学部、美術文化学部、基礎教育機構、大学院、金沢学院短期大学の教授が順次紹介されます。

発行・広報室